

はしがき

「英語を将来どのように使えたら良いと思いますか？」と尋ねると、「映画を字幕なしで楽しめるようになりたい」「好きなアーティストの曲の歌詞をもっと理解できるようにになりたい」と答える人が少なくありません。映画も、歌も、ともにテーマを持ち、背後にある文化や時代を反映しています。それぞれが与える感動、影響力は言うまでもありませんが、英語学習にとっても多くの可能性を秘めた教材だと言えるでしょう。

本書は、映画のスクリーンから流れた名曲を集めたアルバムを素材とし、様々な角度から興味深く英語を学習していただけるようにと工夫されています。それぞれの歌の良さや歌詞を味わっていただくのと同時に、その歌が使われた映画のテーマについても学び、活発な意見交換ができるような問題を配しました。以下に各セクションの目的、学習方法を記しますので、それぞれの趣旨をご理解いただき、本書を活用していただきたいと思います。

PRE-READING：そのユニットで扱われる映画、歌に関連のある内容について考えてみましょう。それぞれのアクティビティーを通じてトピックを予想し、背景知識の確認を行ってください。

READING：特に、映画のテーマに関する内容の reading passage を用意しましたので、読み終わったら、passage の内容を確認し、PRE-READINGセクションで不明だったことの答や、新たに分かったことなどを話し合ってみましょう。

LISTENING FOR GIST：一度歌を通して聴き、そのメロディー、リズム、雰囲気などに慣れると同時に、歌のタイトルや耳に残ったいくつかの語句から、歌詞の大まかな内容、流れを理解できたかをチェックしましょう。一度聴いただけで答が決まらなくても構いません。その場合は、次のセクションが終わってから歌の趣旨の理解ができたかどうかを確認する問題として再度取り組んでみてください。

LISTENING FOR DETAILS：歌詞の空所補充、一部の並べ替え、又は、趣旨の確認を行うタイプの問題を設けました。特に空所補充と並べ替えの問題では、ただ何回も聞き直すのではなく、歌のタイトルや文脈、文法的な知識を使って答を予想し、耳で音を確認するという方法で作業を進めて下さい。

WORDS AND PHRASES：リスニングの仕上げとして、歌に出てきた語句の意味を考え、歌詞全体の内容に対する理解を深めることを目的としています。いくつかの異なったタイプの練習問題を用意しました。

DISCUSSION QUESTIONS：リーディング及び歌の中で扱われたトピックについていくつかの質問を用意しました。それぞれの答を、少人数のグループで話し合ったり、発表したりして、具体的、客観的な意見を英語で表現する練習をしてみましょう。質問の内容によっては、答を英作文の形でまとめるなど学習者のレベルとニーズに合わせて最大限の活用方法を工夫していただきたいと思います。

本書で学習されたあと、「色々なことを考えさせられた」「楽しかった」「実際に映画を見てみたくなった」と言っていただけならうれしく思います。

最後になりましたが、本テキストの作成にあたり英文を校閲し貴重なアドバイスをくださった Mr. Arthur Amor ならびに企画、編集の段階で大変お世話になった金星堂編集部嶋田和成氏、犬山秀紀氏に心より御礼申し上げます。

2000年11月

津田 敦子